

新型コロナウイルス感染症対応についての確認事項（宇部工業高等専門学校）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
「学びの継続」の観点から、オンデマンド授業をいち早く4月13日から開始している。また、遠隔では実施が困難な実験実習を2学期以降に配置し、いくつかの講義科目を前倒しで実施するなどの時間割組み替えも実施した。	C-1-01 「令和2年度行事予定表」 C-1-02 「令和2年度1-3学期時間割」
双方向の講義となるよう、「質問タイム」を設定し、TV会議及びチャットによる質問ができるようにした（オンデマンド授業開始に先立ち、4月7日にoffice365の使い方及び質問タイムの設定法について説明を行っている）。	C-1-03 「教員向け Office 365 利用説明会」
学生の理解度を図るため、毎回の講義に対するレポートを課した。なお、レポートの量が過大にならないよう、学生の学習状況をアンケートにより把握しながらレポート課題の分量を調整する取り組みも行った（第2学期に全オンデマンド授業科目において2回実施している）。	C-1-04 「レポート課題等学生の学習状況を把握するためのアンケート」
実験、実習、演習等については、年間の時間割を組み替え、緊急事態宣言解除後に対面実施（分散登校）できるようにした(C-1-02において、黄色で塗られているもの)。その際、質の保証と感染防止を両立させるため、マスク・換気・消毒などの対策徹底と同時に実験・実習の分散実施を行った。	(再掲) C-1-01 「令和2年度行事予定表」 (再掲) C-1-02 「令和2年度1-3学期時間割」

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
オンデマンド形式による家庭での学修状況を把握するためのアンケートを実施するとともに、レポート提出等に配慮が必要な学生の把握と支援を実施した。	C-2-01 「修学支援室によるアンケート報告書」
家庭にオンデマンド講義を視聴できるWiFi環境が無い学生のため、情報処理センターで講義動画を一括ダウンロードできるようにすると同時に、本校同窓会の支援により購入したモバイルWiFi機器の貸し出しを実施した(現在6台貸出中)。なお、オンデマンド授業の開始に先立ち、家庭内でWifi環境及び動画視聴環境の調査を実施している。	
家庭にオンデマンド講義を視聴できるPC等を所有しない学生のため、ノートPCの貸し出しを実施した(現在58台貸出中)。	
通常の修学支援に加え、オンデマンド授業の受講に対して支援が必要な学生を調査し、対象学生に対し、レポート提出に関する配慮や対面による相談を実施した。	
後援会(保護者による組織)による支援により、繰り返し洗えるマスク3枚を全学生及び全教職員に配布、およびクラブ活動用の消毒液の寄付を頂いた。	

3. 新型コロナウイルス感染症に対応して、寮における安全対応について行った取組の概要を確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
各部屋の収容人数制限（最大2名）を実施している。	
食事、入浴に関して、低学年と高学年に分け、時間帯を指定のうえ分散させている。	
食堂では座席を半数に減らし、椅子の間隔を1m以上離している(1席開けて着席)。また、アクリル板により、対面する学生からの飛沫を防止している。	
各フロアに消毒を設置している。	
他の学生部屋に行かないよう指導している。また、寮外生が寮内に入ることを禁止している。	

4. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の課外活動について行った取組の概要を確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（提出は任意）
6月16日開催の教員会議において説明会「課外活動再開にあたっての留意事項」を実施した。これにより、消毒・換気等の感染対策に加え、クラブ顧問が曜日ごとの参加人数、練習メニュー、感染対策の具体的な方法を記載した活動計画書を作成し、毎月提出している。	C-4-01 「課外活動再開にあたっての留意事項(令和2年度第3回教員会議資料)」
体育館、武道場については、参加人数を把握し、密にならないよう管理している。	C-4-02 「3密防止のための体育館・武道場のクラブ間調整」
全クラブに手の消毒薬および道具や機器の消毒薬を配布し、活動の開始前後及び給水時に消毒を行うよう指導している。	
学生部による指導・支援のもと、コロナ感染防止を考慮した上で学生がクラスマッチ（クラス対抗スポーツ大会）を企画・実施した。	C-4-03 「クラスマッチ概要(令和2年度運営諮問会議用に作成中の資料)」
学生部による指導・支援のもと、コロナ感染防止を考慮した上で学生が高専祭を企画・実施した。	C-4-04 「高専祭実施概要(令和2年度運営諮問会議用に作成中の資料)」

5. 新型コロナウイルス感染症への対応として、遠隔授業に関するFDの実施により、教育の質の向上や授業の改善に結び付いている事実があるか確認したい。

回答欄	根拠資料・データ（事実がある場合は提出してください）
可能な限り早期にオンデマンド授業を開始するため、4月6日にOffice365を用いた講義の方法に関する説明会を実施するとともに、動画コンテンツ作成マニュアルを配布した。	(再掲)C-1-03 「教員向け Office 365 利用説明会」
6月5日～6月9日の期間内に3回(内容は同一)のFD「学生主体の遠隔授業設計講習会」を開催した(参加者66人)。講習会では1学期のオンデマンド講義動画の良い例を紹介するとともに、出欠確認方法の統一、課題の提出法一覧の提示、朝いいねの実施など、授業の設計法について説明した。これにより、Webによる学修の自己点検の集計結果から、講義に対する理解度と満足度が向上している。 ※「朝いいね」とは生活リズムを整えるため、毎朝、担任がTeamsに今日の一言を投稿し、クラスの学生が朝いいねの応答をするしくみのこと。	C-5-01 「動画コンテンツ作成マニュアルその1」
	C-5-02 「動画コンテンツ作成マニュアルその2」
	C-5-03 「学生主体の遠隔授業設計講習会配布資料」
	C-5-04 「講義の理解度及び満足度に関するWebアンケート集計結果」